

顔面神経麻痺

〜ある日突然顔が動かなくなったら〜



社会医療法人全仁会

倉敷平成病院

耳鼻咽喉科部長

森

幸威

気が付くと、眼を閉じることができない。水やお茶を飲むにも口角からこぼれてしまう。歯磨きの後のクチュクチュがうまくできない。もともとできていたのに口笛が吹けなくなっている。おかしいな、変だなと思っていると、「顔がゆがんでい」と家族や他人から指摘されて、自分で鏡を見てみるとその通りだった。

顔面神経が麻痺をすると、このような症状が出てきます。ビートたけしさんはバイクで転倒しました。そのとき頭を強打して、顔面神経が障害されて、その結果顔面神経に麻痺が起こりました。そもそも顔面神経は脳神経の一つで、脳から出てきています。ですから脳出血、脳梗塞、脳腫瘍など脳の中の異常でも顔面神経麻痺は起こります。これらのように頭の中に異常があつて、それが原因で顔面神経が麻痺している場合を、中枢性の顔面神経麻痺といいます。



一方、頭の中に異常がないのに顔面神経が麻痺をしている場合、これを末梢性の顔面神経麻痺といいます。末梢性顔面神経麻痺の原因の一つに、単純ヘルペスウイルスや水痘・帯状疱疹ウイルスなどのウイルスが原因であろうと考えられているものがあります。水痘・帯状疱疹ウイルスが原因で、耳介や外耳道に水疱が出てピリピリと痛み、聞こえも悪くなつて、顔面神経にも麻痺が出るものを、ハント症候群といいます。またかつて抗生剤が発達していない時代は、中耳炎でもよく顔面神経麻痺が起こつ

ていました。現在でもひどい中耳炎では、顔面神経麻痺が見られます。稀ですが、耳下腺の腫瘍でも顔面神経麻痺が出るものもあります。さらに顔面神経は、味覚をつかさどる神経も出しています。ですから顔面神経が麻痺を起こしていると、顔が動かないという症状だけではなく、味もおかしいという症状が出る可能性があります。そのような背景から、耳鼻科でも顔面神経麻痺を取り扱っています。

さて実際、顔面神経麻痺が起こつたら、どの科に行けばよいでしょうか。頭の中に異常がありそうなので、脳神経外科を受診しよう。頭の中に異常がなさそうなので、耳鼻科を受診しよう。一般の方々ではそんな余裕もなく、その判断が非常にむずかしいと思います。ですから、とりあえず脳神経外科か神経内科か耳鼻咽喉科、この3科のいずれかを受診してください。

治療は中枢性なら、その原因疾患（頭部外傷、脳腫瘍、脳梗塞、脳出血など）の治療が優先されます。末梢性なら、副腎皮質ステロイドホルモン、抗ウイルス薬、血液循環改善薬、ビタミンB12などの投与が治療の中心となります。もし麻痺の程度がひどく、副腎皮質ステロイドホルモンなどの薬剤で治療の効果が乏しいとき

は、顔面神経減荷術という手術が選択されることもあります。

中枢性であっても末梢性であっても、顔面神経に麻痺が出たときは、いずれよくなるだろうと、様子を見ないほうが良いでしょう。速やかに医療機関を受診してください。

イラストは「ひょっこり」のお面。ちよっこのような表情になります。

